



中野点字友の会

【プロフィール】

昭和56年5月に結成し、現在、昼の部と夜の部の24人の会員で活動している。広報紙など字読者に対する広報紙などの点訳書の作成のほか、学識生に対する点字指導など幅広く活動を行っている。



私たちの作った点訳本をぜひご覧ください。



03 一人でも読者の方がいる限り活動を続けていきたい

広報紙や写真は目で見て判断するものなので、視覚障がいがある方のことを考え、「相手に伝わる点訳」を心掛けて活動しています。

毎月点訳している「広報なかの」は、40%程度の内容でも点訳すると1000〜2000字になるので、自宅でも毎日のように点訳の作業を行っています。

活動を通じ、視覚障がいの方と交流させていただく中で、今まで知らなかったその方の生き様を目の当たりにし、立派な生き様を知ること

ができ、自分自身がとても成長できたと感じることができました。ですので、地味な作業に思われることもあります。が、一人でも読者の方がいる限り、コツコツと点訳の活動を続けていきたいです。

また、広報紙の点訳などのほかにも、会員各自で目標を立て、時間の空いた時に本を点訳し、点訳本を図書館に納める活動なども行っています。点字のことを知りたい方や興味のある方は、ぜひ私たちと一緒に活動していただければと思います。

04

聴く人に寄り添った活動をしていきたい

現在、13人の会員で活動しており「広報なかの」のほか、社会福祉協議会で発行するラダよりや地域の新聞などを音訳し、録音したものを利用者の方にお届けしています。新しい情報をお伝えするため、自宅などで吹き込み作業を行い、完成までの時間をなるべく短くできるように会員同士で協力しあって作成しています。作業が大変に思うこともありますが、聴いてもらった感想や、点字でお手紙をいただいた時はとてもうれしく、

活動して良かったと心から思っています。今後も、配布するCDやカセットテープが聞き取りやすく使いやすいものになるよう、聴く人の立場になり、会員全員で検討しながら活動を続けていきたいです。

また、現時点では利用者が少ないのが実情なので、利用したいというご家族の方などがおりましたら、ご連絡をいただくとともに、私たちの活動に興味があるという方は、ぜひ一緒に活動していただければと思います。

現在、13人の会員で活動しており「広報なかの」のほか、社会福祉協議会で発行するラダよりや地域の新聞などを音訳し、録音したものを利用者の方にお届けしています。新しい情報をお伝えするため、自宅などで吹き込み作業を行い、完成までの時間をなるべく短くできるように会員同士で協力しあって作成しています。作業が大変に思うこともありますが、聴いてもらった感想や、点字でお手紙をいただいた時はとてもうれしく、



朗読ボランティアの会 せせらぎ

【プロフィール】

昭和60年3月に結成し、視覚障がい者の生活に必要な情報をカセットテープやCDに録音してお届けしているほか、読み聞かせなどの各種ボランティア活動も精力的に行っている。



③ 内容の校正



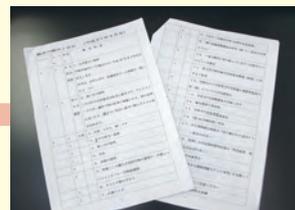
録音された内容を別の担当者が確認し、内容の校正を行います。

② 録音作業



担当者ごとにパソコンを用いて、広報紙の内容を録音します。

① 目次の作成



広報紙の内容を、各担当者用に、録音の順序と目次として分けます。

朗読ボランティアの会せせらぎの皆さんが音訳して作成する、「広報なかの音訳CD」ができてあがるまでを追いました。

音訳CD
(声の広報紙)
ができてあがるまで





▲治療院での遠山さん。人生の信条は、「構えたり飾ったりすることなく自然体でいること」とのこと。視覚障がい者と接するときも「特別扱いは必要なく、ごく普通に接してほしいですね」と話していました。また、表情やしぐさがお若いんですねと伝えると、「私の顔の記憶は16歳のままですから」と笑顔で答えていただきました。

皆さんに「ありがとうございます」と伝えたい

遠山 泰さん (安源寺)

自己紹介

私は、16歳のときに目の病気がかかり、17歳のころに全盲になりました。

元々は北永江に住んでいましたが、バス路線が近いなどの理由で40歳を過ぎてから安源寺に転居してきました。

現在は、治療院を開業し、治療院での施術のほか、月・

水・金曜日は利用者のお宅を訪問し、訪問マッサージの仕事も行っています。

音の鳴るものが好きなので、旅行先で風鈴を購入し自宅に飾ったりしているほか、30代半ばから趣味としている野鳥は、家の中にいても近くにきた鳥の声を聴けるのでとても楽しいです。鳥のさえずりが入ったCDを借りてきて

は、よく聞いたりもしていません。

自宅では、どこに何があるかを把握し、つまづくことのないようにゴミをしっかりと回収していたり、オール電化にして、火を使わない生活にしています。近隣の住民の方には、ゴミ出しを手伝っていただくなど、さまざまなことで支えていただいています。

ボランティアの方たちとの関わり

朗読ボランティアせせらぎの皆さんから、毎月CDに音訳を録音した「広報なかの」

を届けていただいているほか、地域の新聞を毎週カセットテープに録音して送ってもらっています。

また、ボランティアの方と一緒に戸隠へ野鳥の観察に行くこともあり、ボランティアの皆さんとお互いに楽しめる環境に行けることは、とてもうれしく感じます。

ボランティアの方と接する機会は限られていますが、日常生活の中でさまざまなことをボランティアの方に支援していただき、とても助かっています。皆さんに「いつもありがとうございます」と伝えたいです。

⑥ 完成



完成したパッケージには点字のシールを貼り、利用者に送付します。

⑤ 表紙の印刷



データの入ったCDに号数が示された表紙を印刷します。

④ 録音データの合成



各担当が作成した録音データを持ち寄り、一つのデータにまとめ、CDに移します。

check こちらの機械が目印です。

▲プレクストーク

完成品は、利用者や配するほか、市役所や各公民館などでも聴くことができます。